

2008. 1. 11

佐川克弘

不必要な丹生ダム・異常渇水対策容量

1月10日付意見書「完全に破綻した河川管理者の説明＝丹生ダム・異常渇水対策容量」を補足説明します。

1) 「ダムあり」も「ダムなし」も夜間断水日数は同じ

河川管理者のシュミレーションの「ケース2」と「ケース4」との比較です。両者の比較表を下表に示します。

検討ケース	取水制限 開始水位	取水制限率 (%)	ダ ム	夜間断水 日数	琵琶湖の 最低水位
2	-90cm	-10	無	179	-155
	-110	-20			
4	-90	-10	有	179	-149
	-110	-20			

2) シュミレーションの河川維持用水削減量は甘い！

1. 10意見書で述べた通り、河川管理者が過去に実施した削減量（S59渇水の際は $20 \text{ m}^3/\text{s}$ 以上、H6渇水の際は $35 \text{ m}^3/\text{s}$ ）に対して検討ケース2も、検討ケース4も削減量は $14 \text{ m}^3/\text{s}$ に過ぎないのです。1/60という異常渇水対策としては甘すぎると言えましょう。

以上